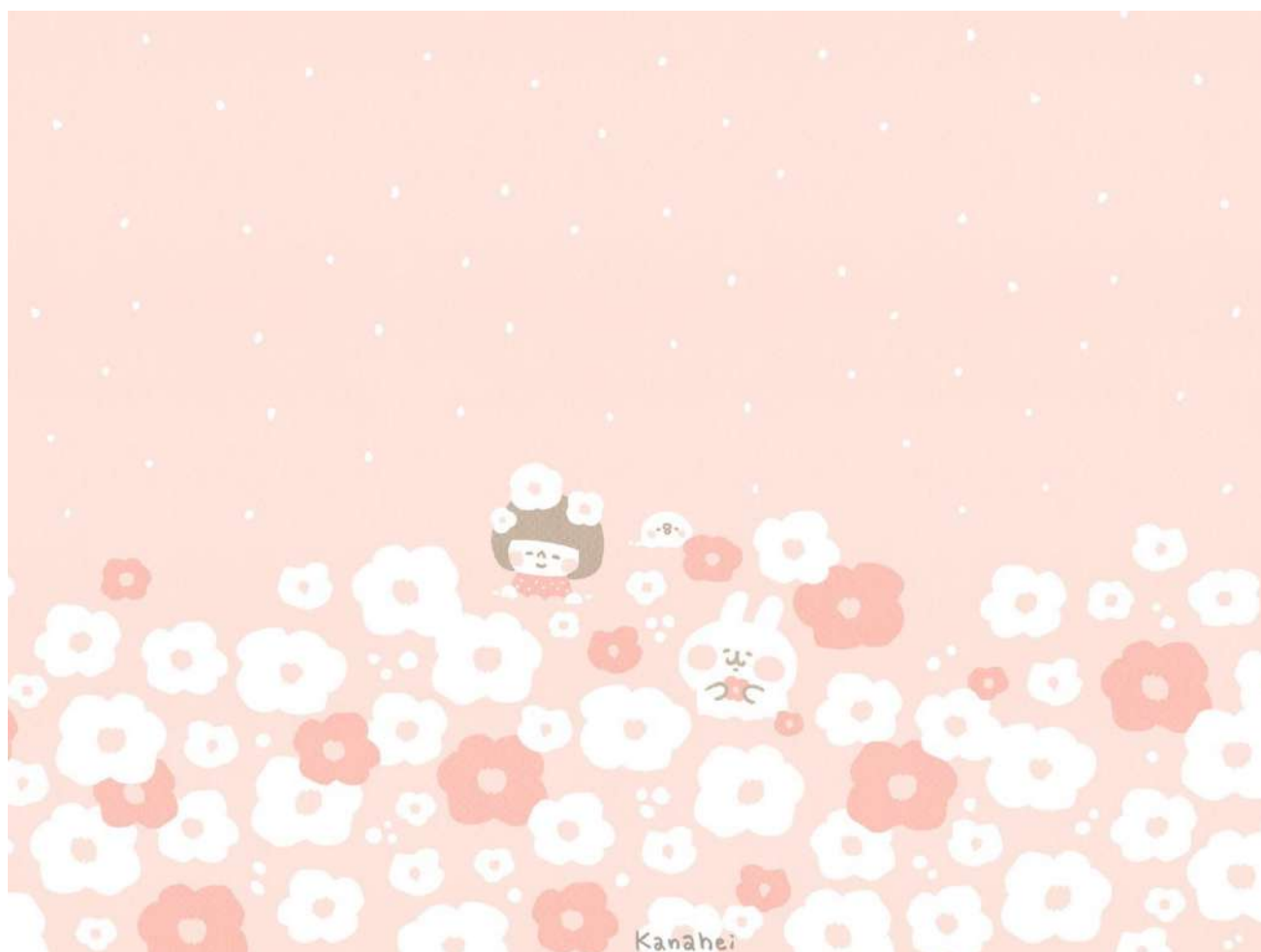


社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

令和2年度事業報告



社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

令和2年度 of 取組み (総括) 1

■法人の運営状況

1) 運営基盤整備 2

- ① 会員制度 (会費)
- ② 善意銀行
- ③ 第三者委員
- ④ 事業継続計画 (BCP) の策定
- ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策

2) 他機関との協働推進 4

- ① ほっとかへんネット丹波
- ② 企業等との協働

3) 人事・労務 6

- ① 階層別研修
- ② 広報研修
- ③ 職種別研修

■地域福祉事業

1) 地域支援 6

- ① ふれあい・いきいきサロン活動支援
- ② たんば子ども食堂事業
- ③ コミュニティカフェ運営支援事業
- ④ 福祉用具・備品の貸出し
- ⑤ 出張教室事業
- ⑥ 生活支援サービス体制整備事業
- ⑦ 地域福祉推進支援事業
- ⑧ ストップ! 要介護助成事業

2) 当事者支援 12

- ① 丹波市福祉送迎サービス (おでかけサポート) 事業
- ② 団体事務助成
- ③ 点字・声の広報発行事業
- ④ 在宅寝たきり者世帯歳末見舞の贈呈

- ⑤独居高齢者宛書状制作、発送
- ⑥見舞金支給

3) 子育て・教育支援 13

- ①福祉教育助成事業
- ②丹波市ファミリーサポートセンター
- ③アフタースクール事業
- ④認定こども園助成

4) ボランティア活動・団体支援 15

- ①ボランティアグループに対する活動助成
- ②ボランティアまつり開催経費の助成
- ③サマーボランティア体験教室の実施
- ④福祉団体助成
- ⑤ボランティア登録・派遣調整
- ⑥災害ボランティア支援事業
- ⑦いきいき百歳体操サポーター派遣
- ⑧ボランティア講座・交流会等の開催

5) 情報提供・啓発活動 16

- ①広報紙の発行
- ②ウェブサイトの運営
- ③社協福祉まつり（仮称）の開催
- ④福祉バザー
- ⑤地域福祉推進計画の策定

■生活支援事業

1) 生活困窮者支援 17

- ①生活福祉資金の貸付（特例貸付）
- ②従前の生活福祉資金の貸付
- ③福祉資金の貸付
- ④物品援助事業
- ⑤コロナに負けるな！食料品支援

2) 権利擁護 19

- ①日常生活自立支援事業
- ②心配ごと相談
- ③無料法律相談

■支所別地域支援目標 21

- ①統一目標の進捗状況
- ②支所別目標の進捗状況

■事業所別行動目標 26

- ①東部ケアマネジメントセンター
- ②西部ケアマネジメントセンター
- ③ホームヘルプセンター
- ④東部デイサービスセンター
- ⑤西部デイサービスセンター
- ⑥訪問入浴サービスセンター
- ⑦相談支援事業所
- ⑧東部地域包括支援センター（介護予防）
- ⑨東部地域包括支援センター（地域包括）

■その他の事業 43

- ①介護職員初任者研修（補助事業）
- ②障がい者就労支援事業（受託事業）
- ③障がい者相談支援事業（受託事業）

◆令和2年度 事業所別稼働率一覧表 44

令和2年度の取組み（総括）

【地域福祉ビジョンの推進とコロナ禍による影響】

地域共生社会の構築のため、丹波市社協地域福祉ビジョンを基本に、誰もが住みなれた場所で暮らせる地域と仕組みづくりを目指してきました。また、社協の経営改善にも積極的に取り組みましたが、本年度は、社協をはじめ各地域においても新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、感染拡大防止のために地域福祉活動は自粛を余儀なくされ、各自治会等においても事業計画の見直しを迫られました。

本社協においては、各支所による地域支援目標を掲げ、アウトリーチ支援を積極的に進めていく予定にしていたのですが、思うように活動推進ができませんでした。

このようなコロナ禍において、出会えなくても人とのつながりを保つ取組みとして、社協職員による電話での声掛け運動「ありがとう電伝作戦」の実施や、マスクや消毒液などの衛生用品が不足する中、約2ヶ月間に渡り市民に広く呼び掛けを行い「余裕マスクの譲り合い」を新聞社と連携して行い、必要とされる個人や市内事業所等に届けることができました。

また、市内の沢山の個人、団体の皆様から、感染拡大防止のため消毒液や食料品等の寄附があり、非常時、異常時における互助活動の大切さを実感いたしました。

経営改善においては、丹波市からの補助事業や受託事業の見直しについて、市と協議を重ね、福祉送迎サービス事業の受託中止を行い、地域支えあい体制整備事業に係る推進員の強化やアフタースクール事業の受託中止に向けた協議を行いました。

更には、指定管理期間が満了する令和3年度末には、本所の移転を行うこととしました。

（令和2年度事業計画の重点推進事項）

1. 地域支えあい体制づくりのための支所による支援体制強化と内部連携の推進

地域における福祉活動が中止あるいは自粛延期される中、集まらず個別の訪問活動や感染防止に関連した活動等が自主的に行われているところもありました。各支所においては、支所独自の広報紙を作成し、これらの取組みを周知しました。

また、コロナ禍による困窮者に対する支援として「お米 de つなぐ助け愛プロジェクト」が実施されるなど、地域の支えあい活動の具体化が図られています。

2. 地域の「元気」を見つけてたたえる活動発表の場づくり

支所独自の広報紙等により、各地域支えあい推進会議の活動状況や地域で取り組まれている福祉活動の紹介を行ってきました。

新たな取組みとして、活動発表や表彰等の場として「福祉まつり」を11月に計画していましたが、コロナ禍の影響により中止を余儀なくされました。

3. 次期地域福祉推進計画の策定

昨年度から今年度にかけて「丹波市地域福祉計画」の内容を一部共有しながら、「第4次丹波市社協地域福祉推進計画」を策定しました。

4. 事業継続計画（BCP）の策定

物理的な災害だけでなく、今回のコロナ禍により職員が感染した場合の事業継続を含めた計画内容に変更し策定中です。

5. 介護保険事業所等の健全な経営体制の強化

介護保険事業所等経営会議を定期的開催し、各事業所の運営状況及び目標値に対する実績推移表をもとに経営改善に向けた検討を重ね、デイサービスセンターの今後の事業方針（案）を作成しました。また、訪問入浴サービスは、市内事業所や利用者のニーズが高いものの、社協が市内唯一の事業者で他の事業者の参入も見込めないことから、運営支援の実施について市に要望を行いました。

丹波市東部地域包括支援センターは、コロナ禍により地域のつどいの場の開催回数が少ない状況ですが、関係機関と連携し介護予防に取組みました。特に地域支えあい推進員や春日及び市島支所との情報共有を行う機会を定期的開催し連携を深めました。

6. 職員研修の充実による次世代の職員養成

コロナ禍により職員が集まることはもちろん、講師の確保も困難となるなど、県社協等が開催する専門研修も、自粛や延期、中止の措置が採られました。

6月以降においてはオンラインによる合同会議や研修も開催され、積極的に職員の参加を促しました。

■法人の運営状況

1. 法人運営

1) 運営基盤整備

①会員制度（会費）

社協会費への協力実績額においては、ほぼ横ばいを維持している状態です。しかしながら、人口減少や市外への転出、自治会への未加入世帯の増加などの課題があります。このような状況の中、丹波市社協では自治会への未加入世帯などが多く居住されるアパート等への協力依頼チラシのポスティングを行い、賛助・法人会員の拡充に向け、社協事業への理解を求めました。

地域	会員数を増やす取組み実践内容	チラシのポスティング数
柏原	アパートへの協力依頼	100世帯（加入実績5世帯）
氷上	自治会未加入世帯へのポスティング、新規企業への法人募金依頼	1,000世帯（加入実績48世帯）
青垣	アパートへの協力依頼、法人会員の新規開拓、未加入事業所5社に訪問（加入実績1社）	38世帯（加入実績3世帯）

地 域	会員数を増やす取組み実践内容	チラシのポスティング数
春 日	自治会未加入世帯へ一般会費依頼 新規法人会員依頼	30 世帯（加入実績 1 世帯）
山 南	アパート等への協力依頼	72 世帯（加入実績 0 世帯）
市 島	未加入事業所 36 社に訪問（加入 実績 10 社）	100 世帯（加入実績 4 世帯）

②善意銀行

善意銀行へ預託をされた方の思いを尊重し、貴重な財源として市内での地域福祉推進のための事業に有効活用しました。

月	金銭預託件数	物品預託件数	技術預託件数	預託金額（円）
4 月	11	20	1	536,658
5 月	8	47	0	526,000
6 月	12	44	0	111,571
7 月	8	21	1	45,000
8 月	6	21	0	34,000
9 月	10	26	0	339,000
10 月	9	15	0	329,000
11 月	8	23	0	159,439
12 月	15	28	0	429,649
1 月	6	15	0	84,000
2 月	9	19	0	190,985
3 月	13	15	0	350,403
合 計	115	294	2	3,135,705

③第三者委員

福祉サービスの提供に対する苦情への適切な対応により、社協の信頼や適性の確保を図るため、第三者委員の任期が満了になりましたが再度設置しました。

年度末には令和 2 年度の苦情対応について報告し意見交換を行いました。

④事業継続計画（BCP）の策定

社協が行っている事業は、災害時においても住民の方の生活を支えるため継続して実施しなければならない事業が多く、また、災害の内容や程度によっては災害ボランティアセンターの運営を行う必要がでてきます。そうした時に最低限必要な業務を継続して行っていくために災害の種類や想定される規模等からどのように継続していくのか検討を進めています。

しかし、昨年度末から世界的に感染拡大をしている新型コロナウイルス感染症に対する業務継続計画を緊急の課題として、先に対応策を検討することとしました。

年末には、国がガイドラインを示し、年度末には実際に職員が感染したため、この経験を基に見直しを行っています。

⑤新型コロナウイルス感染防止対策

4月20日より5月31日まで本所・氷上支所・柏原支所・春日支所で分散勤務を実施しました。その後、丹波管内で感染者が増加傾向にあったため、さらに8月25日から現在まで継続して分散勤務を再度実施しています。

事業についても多くの参加が見込まれる事業については中止としたほか、心配ごと相談事業も6月末日までは職員が対応しました。

年度末には職員が罹患し、保健所とも感染防止策の検討を行い実施しています。

2) 他機関との協働推進

①ほっとかへんネット丹波（丹波市社会福祉法人連絡協議会＝社福連）

各社会福祉法人が地域社会への貢献をめざして公益活動を実施するため、社会福祉法人間のネットワークづくりや情報交換を通じて地域福祉の推進を図っています。

そのためにも、福祉人材の確保は喫緊の課題であり、福祉人材確保事業を積極的に実施していますが、コロナ禍の影響を受け各地域での各種イベント等が中止される等、社福連の行事も縮小、中止が相次いでいます。

また、コロナ禍のような時こそ社会福祉法人の必要性が求められており、感染拡大の危険性を背負いながらも必要なサービスを継続して提供できる体制を築いてきました。

(会議等の開催状況)

開催月日	会議・行事名	内 容
4月23日	医療機関・社会福祉施設に勤務する職員等の一時的な宿泊に関する協定	丹波市に要望書を提出 5月15日協定締結
5月13日	役員会	定期総会及び福祉人材確保事業について
5月18日	定期総会	書面決議
5月19日～	介護職員初任者研修	中止
8月6日	人材確保対策打合せ会議	行政関係部署との人材確保に係る打合せ
8月28日	役員会	福祉人材確保事業について ・福祉人材確保セミナー ・福祉人材確保キャンペーン（中止） ・介護体験セミナー ・介護就職デー ・就職フェア ・福祉施設見学会（中止）
10月23日	人材確保対策セミナー	若手人材確保策について(株)マイナビ講演

開催月日	会議・行事名	内 容
11月6日	介護体験セミナー	未経験者対象の入門的セミナー 参加5名
11月22日	PR 広告掲載	丹波新聞に PR 広告掲載
11月28日	就職フェア	社会福祉法人を対象とした面接会

②企業等との協働

令和2年度はコープこうべ第4地区本部、コープ柏原店、コープこうべ共同購入センター丹波と協働し、食料品支援を通して、コロナ禍の中での生活困窮者支援を進めました。

【コープ柏原店のフードドライブ収集品受け取り】

部署	要請回数	活用品数
本所	0回	0点
柏原支所	11回	170点
氷上支所	8回	172点
山南支所	6回	114点
青垣支所	2回	49点
春日支所	2回	33点
市島支所	2回	32点
合 計	31回	570点

【コロナ対策食料支援物品受け取り】(コープこうべ第4地区本部から)

受け取り日	受け取り物品
6月8日	兵庫米2kg40袋、餅30パック、手作りマスク300枚
9月14日	レトルトカレー30パック、鯖缶120個、カップ麺120個

【フードドライブ収集品受け取り】(コープこうべ共同購入センター丹波から)

受け取り日	受け取り物品
9月24日	米30kg6袋、食料品折り畳みコンテナ6箱分
1月22日	米30kg6袋、食料品折り畳みコンテナ7箱分

【丹波市社協・丹波新聞社助けあい連携事業】

余っているマスクを提供してもらい、不足しているところに配分するため、地域の方々に新聞等を通じ幅広く呼び掛けたところ、4月26日から6月15日までの間に手作りマスクや使い捨てマスクなど、15,194枚が集まり、要支援者や関係施設・事業所等に配布しました。

【マスク収集数】

	枚 数
布製マスク(手作り等)	2,577

	枚数
使い捨てタイプ（不織布）	11,059
作業用（園芸）	1,558
合計	15,194

3) 人事・労務

①階層別研修

役員、幹部職員、一般職員に分かれ、10月・11月に実施しました。

対象	日程	講師	内容	参加者数
役員	10月28日	波多 勇氏 (独) 兵庫産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員	ハラスメントの正しい職場づくり	14名
幹部職員	10月30日			17名
一般職員	㉠ 11月2日	トータルマナー株式会社	接遇研修	27名
	㉡ 11月9日			25名

②広報研修

社会福祉充実計画活用研修として「伝わる言葉とデザイン」研修を2回にわたり実施しました。

日程	講師	内容	参加者
8月26日	二階堂 薫氏 (コピーライター・兵庫県)	自分が伝えたい内容を相手に適切に伝える	14名
9月2日	立大学非常勤講師)	チラシデザインの基礎	11名

③職種別研修

専門分野での事業所、職種別研修で、事業所内外を問わず積極的に参加をしました（ZOOM研修を含む）。個々のスキルアップを目的に、継続して実施しました。

■地域福祉事業

1) 地域支援

①ふれあい・いきいきサロン活動支援

地域	助成件数 (うち新規助成件数)	助成決定額
柏原	11	361,000
氷上	28	929,000
青垣	27 (1)	822,000
春日	20	549,000
山南	41	1,377,000
市島	29	842,000

地 域	助成件数 (うち新規助成件数)	助成決定額
合 計	156	4,880,000

②たんば子ども食堂事業

初 回 決 定 年 度	決定団体	開設準備 経費 (円)	運営費支援 (円)		
			H30	R 1	R 2
H30	ぬぬぎふれあい食堂	69,149	40,000	50,000	30,000
H30	どんぐり食堂	103,673	30,000	45,000	30,000
H30	いちべ子ども食堂	-	5,000	5,000	0
R 1	さちよふれあい食堂	199,735	-	25,000	35,000
R 1	さきやまキッチン	59,135	-	20,000	0
R 2	にこにこキッチン	200,000	-	-	60,000

③コミュニティカフェ運営支援事業

地 域	申請自治会
柏 原	東奥
氷 上	なし
青 垣	佐治地域自治協議会、新町、上町、寺内
春 日	上ゲ町
山 南	なし
市 島	石原、市島、与戸(与戸)、与戸(西安)、酒梨、長者台、勅使、喜多、久良部(上垣)

④福祉用具・備品の貸出し

	本所	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
車いす延べ貸出し件数	8	5	20	2	16	16	17	84
レク用具延べ貸出し件数	0	71	111	50	99	34	52	417
福祉体験用具延べ貸出し件数	4	5	29	0	13	6	4	61

⑤出張教室事業

自治会活動、サロンやいきいき百歳体操の自粛により出張教室事業も開催要請が少ない状況が続いています。

地 域	のべ開催回数	のべ参加人数
柏 原	3	65
氷 上	3	46
青 垣	10	106

地 域	のべ開催回数	のべ参加人数
春 日	5	190
山 南	1	20
市 島	3	50
合 計	25	477

⑥生活支援サービス体制整備事業

●丹波支えあい推進会議（第1層）の開催状況

コロナ禍での自粛の中、3月25日に開催する予定でしたが、職員のコロナ罹患発生により急遽中止しました。

●第2層協議体の設置状況（3月末現在）

地 域	第2層協議体名	設置時期	主なメンバー
柏 原	柏原地域支えあい推進会議	平成30年8月～	自治会長協議会、自治協議会、民生委員児童委員、一般住民
氷 上	葛野地区生活支援サービス推進会議	平成30年2月～	自治会長、民生委員児童委員、民生・児童協力委員、自治振興会
	中央地区和サポート会議	平成31年3月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、PTA、一般住民
	沼貫地区自治会長・民生委員児童委員合同会議	令和2年1月～	自治振興会、自治会長、民生委員児童委員
青 垣	SAJI ささえ愛い推進会議	令和元年6月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、行政、地域包括支援センター
	一般財団法人神楽自治振興会	平成31年4月～	自治振興会理事、評議員
	芦田地区支えあい会議設置に向けた意見交換会	令和2年6月～ 令和3年5月設置予定	自治振興会、芦田地区住民
春 日	春日部地区支えあい組織づくり委員会	平成28年12月～	自治会長、民生委員児童委員、民生協力委員、福祉委員、公民館主事、くらし応援隊等
	大路地区地域福祉委員会	平成30年7月～	消防団、校区事業部、民生福祉部、役員経験者、年代別委員、自治協議会役員
	黒井地区生活支援サービス推進会議	平成30年1月～	自治協議会、自治会長会、福祉委員、防犯協会、民生児童委員、更生保護女性会、いずみ会、老人クラブ連合会
市 島	前山地区自治振興会と地域住民の意見交換会	平成29年3月～	地区内のボランティア団体、前山地区自治振興会等

地 域	第2層協議体名	設置時期	主なメンバー
市 島	竹田地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 8 月～	竹田地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、老人クラブ、あじさいの会等
	美和地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	美和地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、民生児童協力委員、一般住民等
	吉見地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	吉見地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、仲よし会、男女共同参画、介護保険事業所、有識者等
	鴨庄地区地域支援会議	平成 29 年 2 月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、福祉委員、老人クラブ、ボランティア団体、NPO 法人、PTA

●第2層協議体に対する社協からの事務支援の状況

第2層協議体の運営に関して、主に地域支えあい推進員が各支所長・支所職員とともに開催の相談、資料の提供、会議当日の支援、報告書の整理などを行いました。

●くらし応援隊養成講座受講者の状況（人）

地 域	8月開催分	11月開催分
柏 原	0	1
氷 上	1	15
青 垣	0	4
春 日	0	3
山 南	0	0
市 島	1	1
市 外	1	0
計	3	24
登録済	1	4

●くらし応援隊養成講座開催状況

既に登録し活動いただいているくらし応援隊員のフォローアップも兼ねて開催しました。

開催日	場 所	内 容	受講者数 (既登録者含む)
8月17日	氷上健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市の介護保険、福祉制度の現状 ・くらし応援隊の活動について ・ボランティア活動の留意点 	3

開催日	場 所	内 容	受講者数 (既登録者 含む)
		・栄養、食事講座	
8月20日	春日福祉センター	・コミュニケーション講座	4
8月25日	氷上健康福祉センター	・お掃除術	6
8月28日	氷上健康福祉センター	・福祉講演会	6
11月4日	氷上健康福祉センター	8月17日と同じ	20
11月10日	氷上健康福祉センター	8月20日と同じ	16
11月18日	氷上健康福祉センター	8月25日と同じ	22
11月25日	氷上健康福祉センター	8月28日と同じ	19

●くらし応援隊登録者の町域別登録人数（44名・3月末現在）

地 域	登録人数	地 域	登録人数
柏 原	4	春 日	6
氷 上	7	山 南	14
青 垣	7	市 島	6

●よろずおせっかい相談所の開設

地域住民の様々な相談ごとを受け止め、つなぐ「よろずおせっかい相談所つなぎ」を9地区に働きかけ、設置しました。

地 域	設置地区（9地区）	設置場所
青 垣	佐治地域自治協議会	佐治来楽館
	芦田自治振興会	芦田ふれあいセンター
	一般財団法人神楽自治振興会	神楽の郷交流センター
	遠阪自治協議会	やまびこセンター萬歳山
春 日	春日部地区自治協議会	はるべの郷春日部荘
市 島	竹田地区自治振興会	竹田コミュニティセンター
	前山地区自治振興会	前山コミュニティセンター
		オアシスいつせ
	鴨庄地区自治振興会	鴨庄コミュニティセンター

●丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理（令和3年3月末）

エリア	サポーター登録数
東 部	20
南 部	22
西 部	21

⑦地域福祉推進支援事業

地域	校区名	助成額 (円)	事業内容
柏原	柏原自治協議会	140,000	柏原地域支え合い推進会議運営事業、子育て交流広場
	新井自治協議会	137,000	柏原地域支え合い推進会議運営事業（献血事業）、子ども子育て交流事業
氷上	沼貫地区自治振興会	100,000	区民交流を兼ねた高齢者お昼の集い
	中央地区自治振興会	205,000	地域福祉講演会、車いすの購入、HALLOWEENし CHATTA 事業
	幸世自治振興会	93,000	喫茶コーナー新設のお披露目
青垣	佐治地域自治協議会	120,000	グランドゴルフ大会、SAJI ささえ愛い推進会議
	(一財) 神楽自治振興会	60,000	夏休みしぐら学習教室
	遠阪自治協議会	100,454	お昼の集い「お元気会」、ふれあいサロン、中高年の料理教室、地域活動研修会
春日	船城地区自治協議会	177,000	子育て支援事業、高齢者お昼の集い
	黒井地区自治協議会	48,238	シニア・ヌーン・コミュニティサロン、グラウンドゴルフ
山南	上久下地域自治協議会	100,000	独居老人宅におやつセット・ハンドソープの宅配
	久下自治振興会	230,878	月曜サロン「脳トレーニング」、久下小物作り教室
	小川地区自治振興会	300,000	フラワーアレンジメント、ノルディックウォーキング・フェスタ
	ふるさと和田振興会	255,000	災害避難所開設時の情報収集用テレビ設置事業、子育てママのリフレッシュメイク、スマホ教室
市島	竹田地区自治振興会	65,000	高齢者お昼の集い（友愛）、生活支援サービス体制整備事業
	前山地区自治振興会	300,000	高齢者お昼の集い、食育講座、交流サロン、花と緑の交流活動
	吉見地区自治振興会	140,000	高齢者お昼の集い、生活支援サービス推進会議
	鴨庄地区自治振興会	146,724	地域支えあい活動、交流朝のラジオ体操、高齢者お昼のつどい、いきいき百歳体操、憩いのサロンの活用
	美和地区自治振興会	62,110	ふれあいの会
合計		2,780,404	

⑧ストップ！要介護助成事業

地 域	R2申請自治会数
柏 原	2
氷 上	2
青 垣	2
春 日	2
山 南	4
市 島	7
計	19

2) 当事者支援

①丹波市福祉送迎サービス（おでかけサポート）事業

平成17年6月より受託し実施していましたが、サービス有料化に伴い令和2年度をもって受託を終了しました。

②団体事務助成

団体名	社協助成金（円）
丹波市身体障害者福祉協議会	200,000
丹波市手をつなぐ育成会	80,000

③点字・声の広報発行事業

令和2年度をもって、受託を終了しました。請求受付・支払い事務は丹波市に戻り、社協は引き続き各グループの支援を行います。

地 域	対象グループ名
柏 原	柏原点訳グループ
氷 上	さわらび（朗読）
青 垣	りんどう（朗読）
春 日	ひまわり会（朗読）
山 南	かけはし（朗読）
市 島	ひばり（朗読）

④在宅寝たきり者世帯歳末見舞の贈呈

歳末たすけあいの一環として、在宅で介護されている世帯に、民生委員を通じ見舞品を配布しました。（身体拭きタオル、おしりふき 113 世帯分）

地 域	世帯数
柏 原	10
氷 上	38

地 域	世帯数
青 垣	3
春 日	21
山 南	23
市 島	18

⑤独居高齢者宛書状制作、発送

地 域	暑中見舞		年賀状	
	発送者数	ボランティア 延べ人数	発送者数	ボランティア 延べ人数
柏 原	220	220	220	220
氷 上	320	128	316	136
青 垣	167	114	168	110
春 日	257	15	253	15
山 南	269	20	268	10
市 島	206	206	204	204
合 計	1,439	703	1,429	695

⑥見舞金支給

地 域	区 分	件 数	金 額 (円)
春 日	火災見舞金	1	30,000
山 南	火災見舞金	1	30,000
計		2	60,000

3) 子育て・教育支援

①福祉教育助成事業

小中学校 29 校中 20 校へ、315,077 円の助成

柏原高校、氷上高校、氷上特別支援学校へ 149,516 円の助成

②丹波市ファミリーサポートセンター

(1) 講習会や研修会などの開催

開催日	名 称	会 場	参加者数
9月4日	親子ふれあい交流会	柏原福祉センター	7組 (15名)
10月2日	サブリーダー研修会		6名
11月11日	子育て支援講習会		5組 (9名)
11月19日	子育て支援講習会		5組 (9名)
12月4日	クリスマス交流会		4組 (9名)

(2) 登録会員数

	依頼会員	協力会員	両方会員	計
令和2年度	137	77	26	240

(3) 活動実績

コロナ禍により6月まで、活動実績の大半を占めているアフタースクールへの送迎、塾や習い事への送迎実績がほとんどありませんでしたが、その後持ち直し、回数は昨年度とほぼ変わらず推移しました。

	活動延べ回数	活動延べ時間
令和2年度	382回	317.5時間

③アフタースクール事業

コロナ禍の影響により、学校の授業時間や休校の変更等、職員（指導員）の配置に苦慮しました。また、三密を完全に回避することも不可能で、職員への負担が増加しています。

丹波市の方針により、学校休校時に同様に閉鎖となったほか、学校再開後も低学年のみ利用可能となっていたことから、昨年度より利用者数は減っています。

	3月末	昨年度同期
崇広小学校延べ利用者数	16,157	17,947
新井小学校延べ利用者数	4,890	5,203

④認定こども園助成

要綱改正後、申請にあたっては2割の自己負担を求め、助成金額上限を5万円までとして園児の遊び道具や絵本などの購入に活用いただきました。

助成先	助成額（円）
認定こども園ミライズにじ	40,000
認定こども園ミライズそら	50,000
認定こども園ふたば	50,000
認定こども園いくさと	50,000
認定こども園ぬぬぎ	45,000
認定こども園さちよ	40,000
認定こども園あおがき	39,000
認定こども園かすが花の子園	50,000
認定こども園かすが森の子園	50,000
認定こども園みつみ	50,000
認定こども園わだ	49,000
認定こども園あいいくの丘	50,000
認定こども園いちじまこども園	50,000
合計	613,000

4) ボランティア活動・団体支援

丹波市ボランティア・市民活動センターに登録しているボランティアグループの活動を助成支援しているほか、ボランティア登録・派遣調整、ボランティアの養成を行いました。

①ボランティアグループに対する活動助成

助成先	グループ数	助成金額（円）
丹波市ボランティア協会	—	80,000
丹波市ボランティア協会各支部	4	320,000
丹波市ボランティア協会所属グループ	42	725,700
丹波市ボランティア協会未所属グループ	38	446,900
合 計	—	1,572,600

②ボランティアまつり開催経費の助成

感染拡大防止のため各支部とも開催中止され助成していません。

③サマーボランティア体験教室の実施

学校休校の影響により開催を中止しました。

④福祉団体等助成

助成先	助成額（円）	申請内容
株式会社ネクステ ニコマル	200,000	エアコン設置
NPO 法人かたくり 希望の家	94,000	給湯設備設置
丹波市特別支援教育研究部	120,000	運営費
かすがおもちゃライブラリーどりいむ	15,000	県協会費
山南おもちゃライブラリーぴよんぴよん	15,000	県協会費
合 計	444,000	

⑤ボランティア登録・派遣調整

活動分野	登録団体数	登録人数
保健・医療または福祉の増進を図る活動	63	911
まちづくり活動	2	24
学術、文化、芸能、スポーツの振興を図る活動	26	437
環境の保全を図る活動	6	111
災害支援活動	0	0
地域安全活動	2	306
国際協力の活動	1	8
子どもの健全育成	8	100
情報社会	1	5

活動分野	登録団体数	登録人数
その他	4	106
計	113	2,008

⑥災害ボランティア支援事業

申請はありませんでした。

⑦いきいき百歳体操サポーター派遣

丹波市社協各支所より、各いきいき百歳体操の開催場所に派遣調整を行いました。

⑧ボランティア講座・交流会等の開催

講座名	開催状況
くらし応援隊養成講座	8月・11月に各4回コースで開催
趣味から創造する生きがいつくり講座	(柏原支所) 寄せ植え講座 (12/22) (氷上支所) 感染拡大防止のため中止 (青垣支所) 消しゴムはんこ教室 (8/27・9/3・9/10) (春日支所) ノルディックウォーキング体験講座 (3/6) (山南支所) 感染拡大防止のため中止 (市島支所) ストップ詐欺被害講座 (10/27)
サマーボランティア体験教室	感染拡大防止のため中止
サロンボランティア交流会	感染拡大防止のため中止
図書館サポーター養成講座 (全1回)	中央図書館で開催済 (9/12)
手話奉仕員養成講座 (入門課程)	感染拡大防止のため中止
手話奉仕員養成講座 (基礎課程)	感染拡大防止のため中止

5) 情報提供・啓発活動

①広報紙の発行

年度内に6回、隔月奇数月に発行しました。

②ウェブサイトの運営

ホームページは必要に応じ更新を行い、facebookは支所を中心に順番に更新を行いました。

③社協福祉まつり(仮称)の開催

11月に予定していましたが、感染防止の観点から中止としました。

④福祉バザー

各支所とも、感染防止の観点から中止としました。

⑤地域福祉推進計画の策定

前年度から延べ4回の協議を行い、丹波市地域福祉計画と合わせ3月に策定しました。

会議開催日	会場	協議内容
8月3日	氷上健康福祉センター	第2回目の協議 計画の体系表(案)について
10月15日	氷上健康福祉センター	計画素案について
11月20日	氷上健康福祉センター	計画素案の変更点の確認と意見交換

■生活支援事業

1) 生活困窮者支援

コロナ禍による営業自粛や休業、失業等の理由で収入が減少した方を対象に、全国で「新型コロナウイルス特例貸付」として緊急小口資金、総合支援資金の貸付が令和2年3月25日から始まり、令和3年6月末日まで延長、継続実施されています。

①生活福祉資金の貸付(特例貸付)

◆緊急小口資金の申込み状況(3月末日現在:社協受付分のみ)

受付月	受付件数	申込総額	申請者住所	申請累計件数
令和2年3月	2件	300,000	柏原町	50件
4月	32件	5,270,000	氷上町	76件
5月	50件	8,500,000	青垣町	25件
6月	26件	4,950,000	春日町	31件
7月	17件	3,200,000	山南町	49件
8月	21件	4,050,000	市島町	26件
9月	21件	4,100,000		
10月	5件	850,000		
11月	13件	2,360,000		
12月	10件	1,450,000		
令和3年1月	12件	2,200,000		
2月	28件	5,400,000		
3月	20件	3,600,000		
合計	257件	46,230,000		

◆総合支援資金の申込み状況(3月末日現在)

受付月	受付件数	申込総額	申請者住所	申請累計件数
令和2年3月	0件	0	柏原町	30件
4月	3件	1,800,000	氷上町	58件
5月	7件	3,690,000	青垣町	23件

受付月	受付件数	申込総額	申請者住所	申請累計件数
6月	27件	14,550,000	春日町	22件
7月	21件	11,850,000	山南町	32件
8月	17件	9,450,000	市島町	25件
9月	22件	10,650,000		
10月	12件	6,050,000	延長利用	76件
11月	5件	2,400,000	再貸付利用	1件
12月	13件	6,600,000		
令和3年1月	10件	5,400,000		
2月	16件	8,650,000		
3月	37件	19,700,000		
合計	190件	100,790,000	総額	148,080,000

②従前の生活福祉資金の貸付

緊急小口資金の貸付申請が2件ありました。(柏原支所)

③福祉資金の貸付

生活福祉資金(コロナ特例貸付)の実施、コープのフードドライブの活用により、申請状況は低調となっています。

地域	R2末 貸付中総件数
柏原	4
氷上	8
青垣	0
春日	1
山南	0
市島	0
計	13

④物品援助事業

通常、善意銀行を財源として生活困窮者へ物品支援を行っていますが、今年度はコープこうべの食料援助並びにフードドライブの活用により、急場しのぎとしての現物支給食品が用意できたため昨年度と比べ適用が少なくなりました。

地域	R2件数	R2援助額 (円)
柏原	4	21,405
氷上	0	0

地 域	R2 件数	R2 援助額 (円)
青 垣	0	0
春 日	0	0
山 南	1	9,993
市 島	0	0
計	5	31,398

⑤コロナに負けるな！食料品支援

コープこうべ共同購入センター丹波（丹波篠山市）より、フードドライブで集められた食料品を1月22日、社協に寄付いただいたため、これに社協善意銀行の財源で購入した食料品を含め市内のひとり親世帯等に配布しました。

令和3年2月3日～5日に本所・支所で手渡し（一部は訪問手渡し）

市内のひとり親世帯 申込 14 世帯

コロナ禍の影響を受け食料品を必要とする世帯 申込 27 世帯 計 41 世帯（95 人）

提供者	提供された物品
コープこうべ共同購入センター丹波（戸配利用者からのフードドライブ）	米 180kg、缶詰、乾物、麺類、菓子、飲料、調味料、レトルト食品、ミルク、離乳食等（折り畳みコンテナ7箱分）
くまゆき農園様（青垣町）	白菜 66.3kg、サツマイモ 18.3 kg、ニンジン 78.9kg
匿名様	冷凍食品多数（チヂミ 60 袋、鳥ごぼうつみれ 6 kg、カニつみれ 2 kg、玉ねぎとすり身の揚げ物 30 袋） マスク 195 枚
社協（財源：善意銀行）	缶詰、レトルトカレー、インスタみそ汁、カップめん、ジャガイモ、玉ねぎ 計 10 万円分
社協及び丹波市自立支援課	相談窓口の資料（ふくしほっとガイド・福祉なんでも相談チラシほか）

2）権利擁護

①日常生活自立支援事業

ケアマネや高齢者あんしんセンターから紹介があり、新規契約が4件、成年後見制度への移行やご逝去等による解約が6件ありました。

地 域	利用者（名）	R2 新規件数	R2 解約件数	生活支援員（名）
柏 原	6	1	1	3
氷 上	7	2	2	2
青 垣	2	1	2	2
春 日	7	0	0	1

地 域	利用者（名）	R2新規件数	R2解約件数	生活支援員（名）
山 南	0	0	0	2
市 島	2	0	1	1
合 計	24	4	6	11

②心配ごと相談

感染防止のため、4月から6月末までは心配ごと相談員による相談を中止し、社協職員による相談活動を行いました。その後、兵庫県内の感染者人数が減少してきたため、心配ごと相談員による相談を7月より再開しました。

地 域	開設回数	延べ相談者数
柏 原	6	1
氷 上	6	1
青 垣	6	1
春 日	5	1
山 南	6	3
市 島	4	1
合 計	33	8

③無料法律相談

無料法律相談は需要が高いため、感染防止対策を取りながら通常通り開設しました。相談者数は令和2年度上半期は前年度より減少していましたが、下半期には予約がすぐに埋まり、前年度並みとなりました。

	R2
開設回数	24回
延べ相談者数	133件

■支所別地域支援目標

今年度事業方針及び重点推進項目を達成していくため、下記の通り地域支援目標を定め、達成に向け努力しました。

【統一目標】

対 象	目 標
自治会等	A. 出張教室を5ヵ所以上で開催
	B. 自治会を単位とした地域福祉に関する懇談会を2ヵ所以上で開催
	C. ふれあい・いきいきサロンは10ヵ所以上を訪問し相談に乗る
	D. コミュニティカフェは3ヵ所以上を支援
自治協議会等	E. 管内全地区を隔月に1回訪問（地域支えあい推進員以外の職員）
	F. 打ち合わせ段階から、第2層の協議体に地域支えあい推進員と一緒に出席する
他団体等	G. 学校や企業、社会福祉法人と連携できるような取組みを企画する

【進捗状況達成度測定基準】

◎／目標をクリア ○／約80%程度クリア △／約50%程度クリア ×／目標未到達

①【統一目標の進捗状況】

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島
A	○	×	◎	◎	×	△
B	△	×	×	×	△	△
C	△	◎	◎	◎	○	○
D	△	×	◎	○	×	◎
E	◎	◎	◎	○	◎	◎
F	◎	◎	◎	△	◎	◎
G	○	◎	×	△	△	△

②【支所別目標の進捗状況】

支 所	対 象	目標と達成に向けた内容詳細	達成度
柏 原	ボランティア	旧丹波市ボランティア協会柏原支部登録グループとの連携 （事業協力、災害V登録含む） （社協事業の協力やグループ活動への協力）	◎
	ボランティア	ボランティアグループの取材を3件以上行う （6ヵ所）	◎
	自治会等	集いの場の立上げ支援を2ヵ所以上行う （コミュニティカフェ1自治会実施）	◎
	市民	木の根センターでカフェ開催（多世代との交流）	×

支 所	対 象	目標と達成に向けた内容詳細	達成度
		(運営ボランティアは声掛けを行い了承を得たが、カフェは感染拡大防止の為未実施。来年度改めて計画)	
柏 原	関係機関等	まちづくり推進員・地域包括支援センター等との連携により支え合い活動の推進 (地域包括支援センターとは協議体や自治協議会の事業等の事前打合せを行うなど連携を図っている)	◎
	自治協議会	支え合いに関する独自の勉強会に3回以上参加 (協議体主催や自治協議会主催の勉強会に参加)	○
	自治会等	いきいき百歳体操への訪問を毎月2ヵ所以上行う (13ヵ所訪問)	◎
	小・中・高校	福祉学習の取材もしくは支援を1校以上行う (新井小学校で車いす体験を実施)	◎
	小・中・高校	サマーボランティア(小中学校)の参加者を2名以上増やす(開催中止)	×
	市民	アパート等への社協会費依頼 (100件ポスティング 5件協力あり)	◎
	法人・企業他	法人募金2件増 (新規12件依頼、法人1件、篤志1件協力あり)	○
	市民・団体	社協の事業のパンフレット作成(市民用・団体用)社協のPR (事業のパンフレットの作成は出来なかったが、柏原支所だよりを発行。自治会長会、自治協議会の協力により全世帯に配布)	×
氷 上	自治会等	出張教室を10ヵ所以上開催 (自治会行事やサロン等開催自粛の影響)	×
	自治会等	ふれあいいきいきサロン訪問30ヵ所以上(聞き取りアンケートの実施) (開催自粛の影響)	×
	自治会等	いきいき百歳体操訪問20ヵ所以上(聞き取りアンケートの実施)	◎
	ボランティア	活動現場の訪問と取材(困りごとの聞き取り) (ボランティア活動としての集まりの自粛のため)	◎
	自治振興会等	毎月1回は訪問する	◎
	市民	支所通信を発行する	◎
	法人・企業他	法人会費・法人募金の新規開拓を行う(+会費5件、+共募10件)	◎
	小・中学校	福祉学習を4回以上行う	◎

支 所	対 象	目標と達成に向けた内容詳細	達成度
氷 上	市民・民児協	地域ボランティア「うかがい隊」の設立・推進を行う (設立・推進の基にするため、サロンといき百参加者を対象にアンケートを実施予定だったが、サロンが開催自粛のためサロンのアンケートを実施できていない)	×
	市民	自治会入りしていないアパート等へ会費を依頼する	◎
青 垣	自治会等	サロンやいき百の未実施自治会等に地域の現状を伝え、サロン等実施に向け推進する(2ヵ所以上) (自治会長・福祉委員へ出張ふくし教室・コミュニティカフェ・サロンお試しパックの周知をしたが、新たなつどいの場にはつながらなかった)	×
	自治会等	支所からの情報発信(プチ通信を作成し、自治協、サロン、つどいの場等へ配布) (5月から支所広報を作成し、自治協のほかサロン、いき百参加者およびボランティアに配布)	○
	関係機関等	地域包括支援センター、在宅介護支援センター等と連携を密にし、支えあい活動の推進 (年度当初に、包括・在介との調整会議を実施。日常的に連携を密にし、情報交換等を実施)	◎
	法人・企業他	法人会費や法人募金の新規開拓(2ヵ所) (法人会費:新規1事業所、法人募金:新規9事業所)	◎
	市民	自治会入りしていないアパート等へ会費や共募の協力依頼 (会費:自治会未加入世帯3世帯、共募:自治会未加入世帯0世帯)	○
	ボランティア	丹波市ボランティア協会青垣支部と連携し事業実施 (青垣支部総会にて支部としての解散)	×
	小・中・高校	福祉学習の支援、ボランティア活動支援、学校との連携 (福祉学習の講師調整、社協事業(独居高齢者へのお便り・小物の贈呈)への協力、学校におけるボランティアニーズの聴き取りを実施)	◎
春 日	小・中学校	町内全ての小・中学校で出張教室の開催を目指す (2校【3回】ではあったが、開催できた)	◎
	高校	氷上高校と一緒に何らかの活動ができるよう働きかけ、活動を行う(コロナの影響で依頼できていない)	×
	市民	自治会未加入世帯への会員依頼・戸別募金依頼を行い、ともに10件程度増やす(アパート等の郵便受けに投函し協力を呼び掛けたが、1世帯の実績)	×

支 所	対 象	目標と達成に向けた内容詳細	達成度
	法人・企業他	共同募金法人募金を3件増やす (町内の店舗に募金箱設置を呼びかけ、新規の3店舗に協力の承諾を得た。法人募金は3件の協力を得た)	◎
春 日	小・中学校	サマーボランティア体験教室の参加者を5名以上増やす (コロナの影響で開催中止)	×
	市民	福祉バザーで社協事業への理解を図るとともに売上金額30万円台を目指す (コロナの影響で開催中止)	×
	自治会等	ふくしほっと通信を拡大し掲示板等に張り出してもらうなどの独自の広報活動を行う (5月から福祉のお便りを各自治会に配布している)	◎
	自治協議会	地域福祉推進支援事業として実行できる案を共に考える (5地区)(考えたが実行できなかった地区が多い)	◎
	ボランティア	ボランティアグループの取材を3件以上行う (ボランティア協会春日支部など取材を行った)	◎
	市民	様々な活動に出向く中でニーズを3件以上報告する (活動に参加できず、十分なニーズ把握に至っていない)	○
山 南	自治会等	ふれあい・いきいきサロンを新規に3自治会で立上げる<【最終目標】自治会に最低1カ所設置> (令和2年度のサロン数は、55自治会中37自治会にある。サロン開催の説明を行ったがコロナのため開催にはいたらず。)	×
	中学生	サマーボランティア体験教室は老人施設の夏祭りスタッフだけでなく、ミニトライやる的施設ボランティアの体験の実施。(開催中止)	×
	自治会等	いき百実施団体5カ所へ訪問し、相談等の支援を行う。 (30ヶ所中14カ所訪問済)	◎
	市民	社協会費の5%アップ(自治会未加入者への依頼) (前年度実績より3.7%増加しているが、本目標に届いていない)	△
	法人・企業他	共同募金法人募金事業所の5%アップ(事前に未加入事業所のリストアップ) (リストアップ事業所へ訪問しポスター掲示などの協力はいただけたが、コロナの影響で収益減などから募金には結びつかなかった。)	×
市 島	自治会等	一般会費の未加入世帯への協力呼びかけを報告いただいた未加入世帯の80%以上に呼びかける	◎

支 所	対 象	目標と達成に向けた内容詳細	達成度
		(自治会未加入世帯の大多数が民間集合住宅のため、集合住宅の9割超となる100世帯へ呼びかけ)	
市 島	自治会等	共同募金戸別募金の拡充のため、会費と同じく自治会未加入世帯の80%以上に呼びかける (11月に一般会費と同じ方法で実施)	◎
	自治会等	コミュニティカフェまたはいき百体験などサロン活動カ所を2～3カ所増やす (上半期4カ所増)(与戸、与戸西安、長者台、酒梨) (下半期4カ所増)(勅使、喜多、久良部(上垣)、友政)	◎
	自治会等・学校	出張教室の実施回数を4回から6回に増やす (新型コロナウイルス感染症への不安から実施されなくなり、達成は困難)	×
	自治振興会	推進会議の打ち合わせや会議に推進員と一緒に100%参加する (上半期 打合せ3回中3回、会議3回中3回) (下半期 打ち合わせ10回中10回、会議3回中3回)	◎
	自治会等	福祉バザーの目的を明確にしたチラシを作り地域内に周知する (本年度福祉バザー開催中止のため作成せず)	×
	社協事務局	来所者年間400人以上を目指す	◎

■事業所別行動目標

今年度事業方針及び重点推進項目を達成していくため、下記の通り各事業所の具体的な目標を定めます。

- ①…具体的な目標数値
- ②…重点目標である「安全・安心なサービス提供」のために具体的に取り組むこと
- ③…目標数値達成のために具体的に取り組むこと

【達成度測定基準】

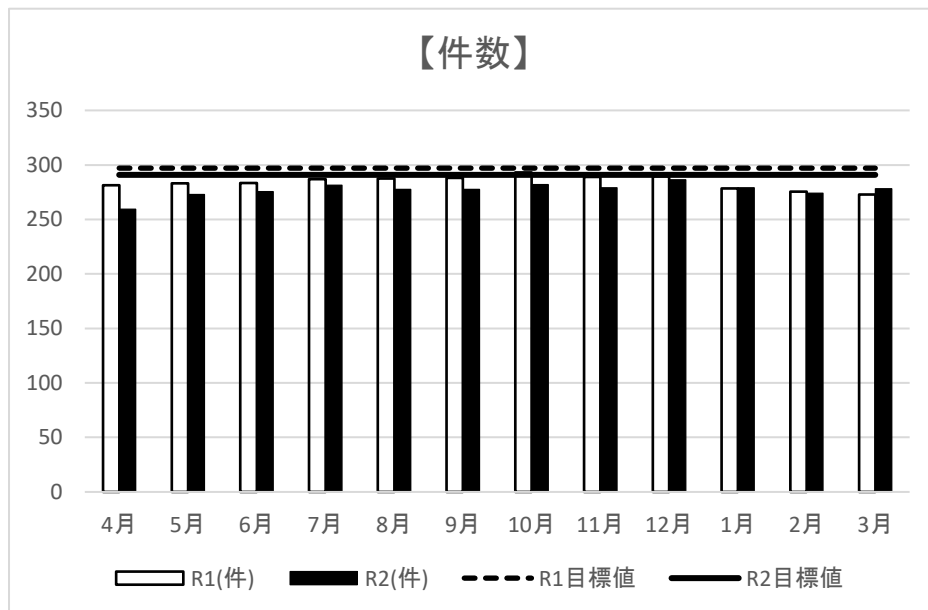
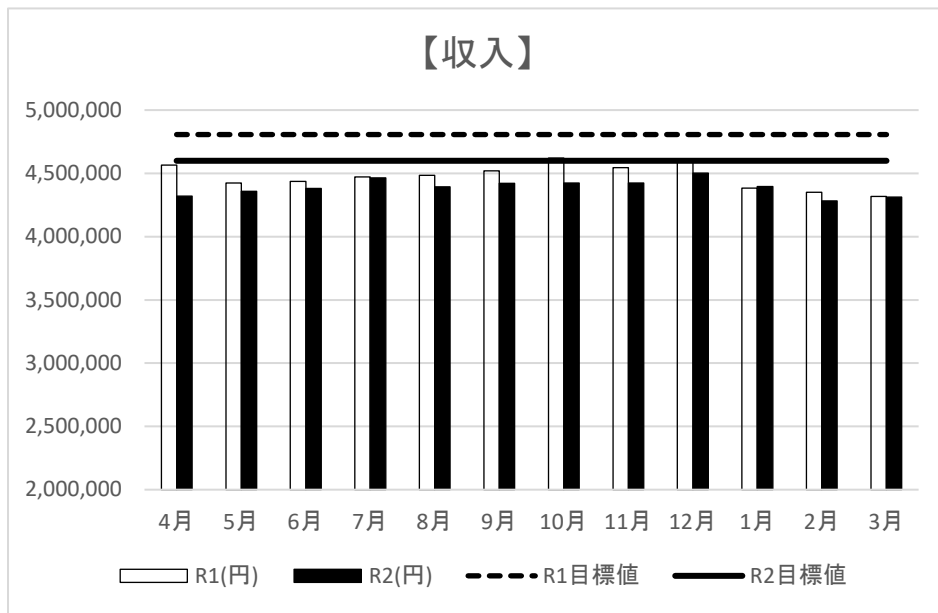
- ◎／目標どおり達成した。
- ／目標どおりではないが、概ね達成した。又は進行している。
- △／あまり達成できなかった。又はやや取組みが遅れている。
- ×／大幅に達成できなかった。

東部ケアマネジメントセンター

収入目標額	55,217,000 円	実績額(達成率)	52,937,657 円 (95.9%)
目 標			達成度
①ケアマネ 1 人当たりの月平均担当件数 正規：35 件 嘱託：32 件 臨時：26 件 ※月平均請求件数 291 件			○ 276.9 件
②利用者・家族との信頼関係を築き、必要な情報の聴き取りを行い、連携シート・連携システムを活用し、多職種間の情報共有を確実にを行います。			○
③事業所での協力体制を取り、時間管理・書類管理・環境整備を行い、業務の効率化に取り組めます。			○
実績評価	<p>①新規利用者の受け入れより契約終了の件数が多く、また令和 3 年 4 月以降の体制変更（ケアマネ 1 名減員）に備え、2～3 月は新規受け入れを休止したため、年間では目標を達成できませんでしたが、東部地域包括センターとの連携を意識して、新規の受け入れができました。</p> <p>②コロナの影響によりオンライン会議やカンファレンスも行われるようになりました。今後さらに活用して情報共有に努めていきます。</p> <p>③事務所を分散していましたが、職員間の協力体制により業務の効率化を図りました。令和 3 年度は介護報酬改定や人事異動に伴う担当変更等ありますが、継続して取り組みます。</p>		

●東部居宅 ※R1→R2 嘱託1名減・臨時1名増 (R1:正規5名・嘱託3名・臨時1名 R2:正規5名・嘱託2名・臨時2名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	R1(円)	4,566,920	4,425,460	4,436,820	4,473,140	4,485,150	4,520,620	4,621,080	4,544,650	4,599,980	4,384,490	4,350,560	4,319,000
	R2(円)	4,321,570	4,359,670	4,380,460	4,464,050	4,393,830	4,420,690	4,424,920	4,424,180	4,502,350	4,397,230	4,283,730	4,311,950
	R1目標値	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417	4,807,417
	R2目標値	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417	4,601,417
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	R1(件)	281.5	283	283.5	287	287.5	288	293	289	289.5	278.5	275.5	273
	R2(件)	259.5	273	275.5	281.5	277.5	277.5	282	279	286.5	279	274	278
	R1目標値	297	297	297	297	297	297	297	297	297	297	297	297
	R2目標値	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291

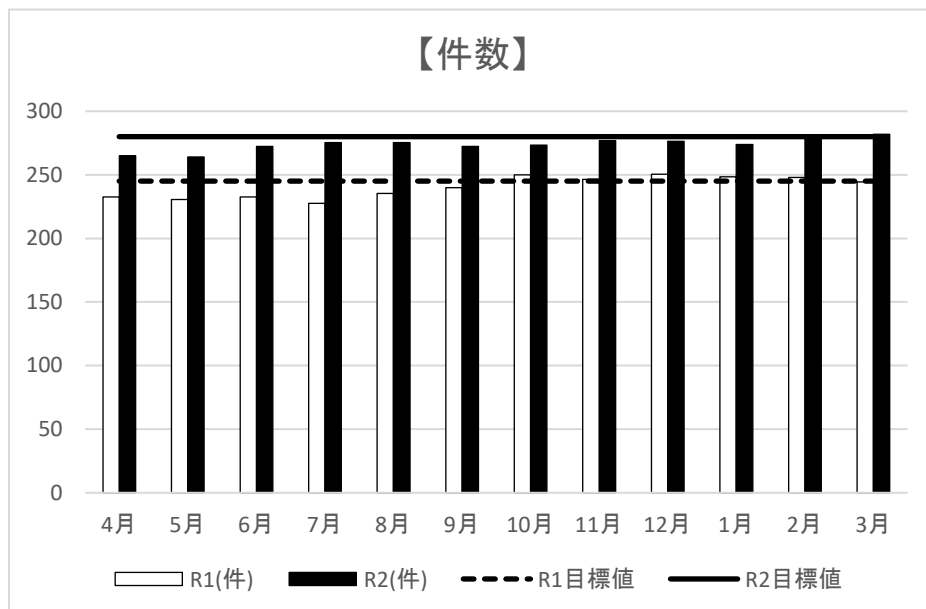
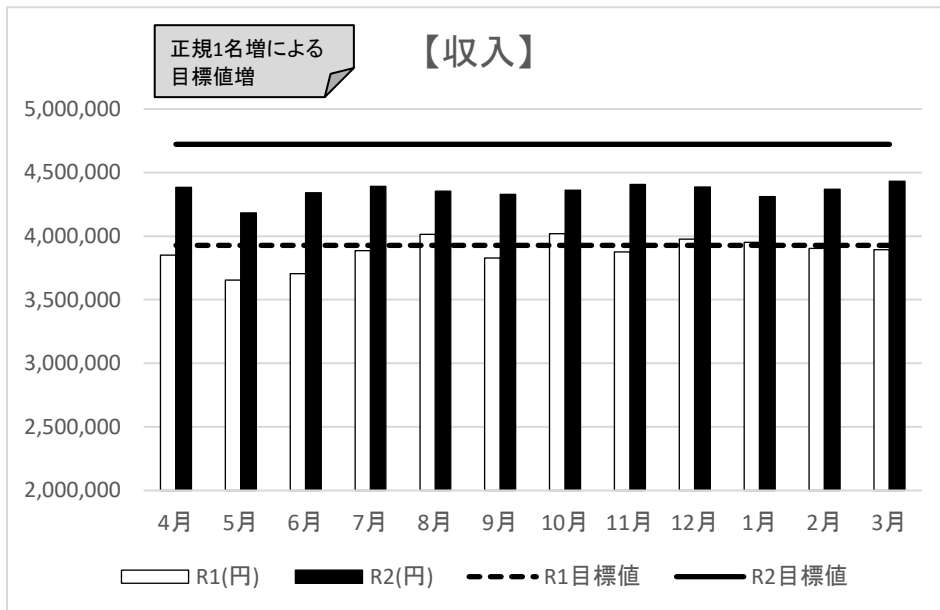


西部ケアマネジメントセンター

収入目標額	56,662,000 円	実績額(達成率)	52,566,297 円 (92.8%)
目 標			達成度
①ケアマネ 1 人当たりの月平均担当件数 正規：35 件 ※月平均請求件数 280 件			○ 273.9 件
②特定事業所加算 I の算定を想定し、中重度者を含め対応困難な事例等は担当者だけに任せず、事業所で担当している意識を持ち、週 1 回の会議の中で各ケアマネの長所を生かし、認め・補い合いながら共有・検討し適切なケアマネジメントに繋げていきます。また、法令遵守に向け事業所内で適時にチェックし改善していく体制をとります。			○
③職員一人一人が目標数値に対する意識を持てるように、月 1 回の定例会で目標額と実績を対比し、共有します。			◎
実績評価	<p>①令和 2 年度から 1 名増員となったため、年間では目標を達成できませんでしたが、3 月にはケアマネ 1 人当たりの担当件数 35 件 (280 件) に到達しました。</p> <p>②新規利用者を受け続けたので軽度者の割合が多くなり、特定事業所加算 I を算定する状況にはなりません。利用者が増えても事業所内でコミュニケーションが不足しないように取り組んでいきます。</p> <p>③職員全員が目標数値を意識することができたので、①に至りました。</p>		

●西部居宅 ※R1→R2 正規1名増 (R1:正規7名 R2:正規8名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	3,850,160	3,655,500	3,704,800	3,885,550	4,014,570	3,828,440	4,020,400	3,874,760	3,976,410	3,952,200	3,902,710	3,893,200
	R2(円)	4,384,800	4,183,820	4,340,470	4,391,120	4,352,860	4,328,000	4,361,690	4,407,110	4,386,320	4,310,480	4,368,010	4,432,030
	R1目標値	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083	3,927,083
	R2目標値	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833	4,721,833
件 数	R1(件)	232.5	230.5	232.5	227.5	235.5	240	250	246.5	250.5	248.5	248	244.5
	R2(件)	265	264	272.5	275.5	275.5	272.5	273.5	277	276.5	274	278.5	282
	R1目標値	245	245	245	245	245	245	245	245	245	245	245	245
	R2目標値	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280	280



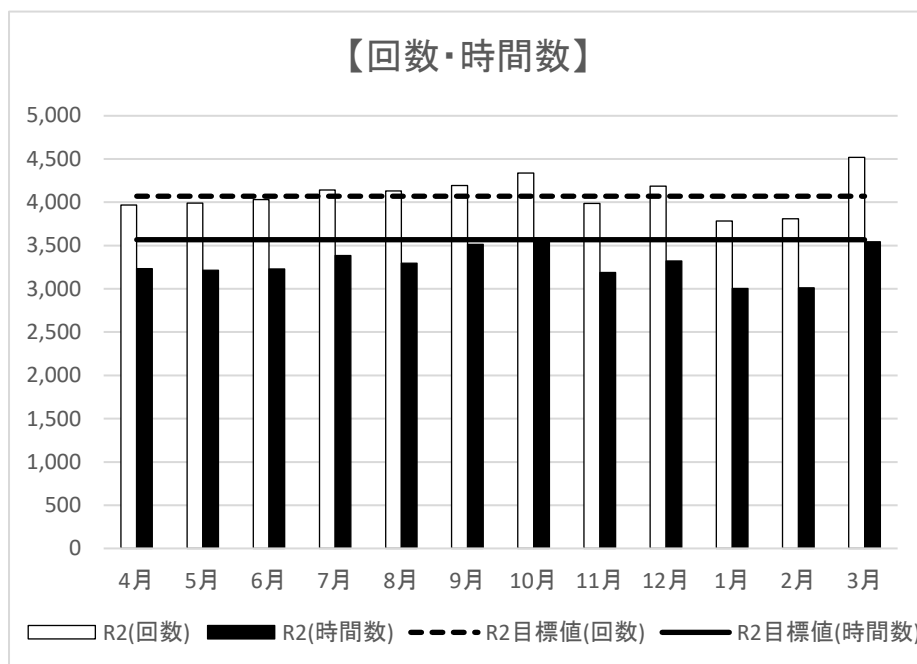
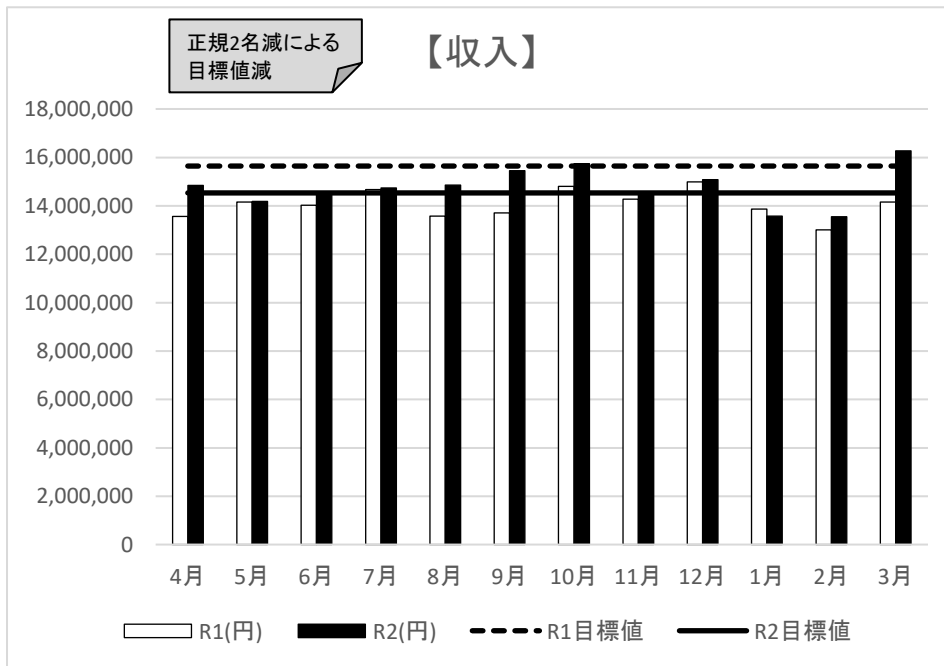
ホームヘルプセンター

収入目標額	174,414,000 円	実績額(達成率)	178,132,485 円(102.1%)
目 標			達成度
①ヘルパー 1 人当たりの月平均訪問回数・時間 正規：68 回 65 時間 嘱託：55 回 52 時間 登録ヘルパー：65 回 55 時間 ※月平均訪問回数 4,068 回 月平均訪問時間 3,567 時間			◎ 4,089 回 3,295 時間
②定例会で接遇、法令遵守等の研修を行います。また、外部研修にも積極的に参加し、知識や技術の向上を図ります。			○
③利用者の情報をヘルパー間で共有し、関係機関と連携しながら、適正なサービスに繋がって行きます。			◎
実績評価	<p>コロナ禍の中、新規利用者が毎月約 13 名あり、訪問回数及び収入も目標を達成しました。</p> <p>緊急事態宣言中は、ヘルパーの定例会を中止しましたが、利用者の情報は毎週業務連絡を作成し、ヘルパー間で情報を共有することができました。</p> <p>予定していた外部研修は、オンライン研修となりましたが、今後も知識の向上や学ぶ機会を得るために積極的に活用していきます。</p> <p>今年度は、マスクや手袋など感染予防用品が不足、高騰する中、新型コロナウイルス感染予防対策に追われる 1 年となりましたが、利用者や職員の安全を守ることを第一に考えることができました。今後も手洗い、消毒など感染予防の徹底に取り組んでいきます。</p>		

●訪問 ※R1→R2 正規2名減 (R1.4月正規18名・嘱託1名 R1.9月正規17名・嘱託1名 R2正規16名・嘱託1名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	13,570,943	14,164,333	14,030,612	14,676,447	13,584,494	13,715,230	14,802,280	14,275,035	14,986,649	13,869,717	13,010,475	14,163,523
	R2(円)	14,852,695	14,189,549	14,488,352	14,743,320	14,855,415	15,456,829	15,746,860	14,578,129	15,080,800	13,577,944	13,545,719	16,273,613
	R1目標値	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583	15,641,583
	R2目標値	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500	14,534,500
回 数 ・ 時 間 数	R2(回数)	3,969	3,991	4,029	4,140	4,132	4,194	4,337	3,985	4,185	3,784	3,810	4,517
	R2(時間数)	3,234	3,216	3,231	3,386	3,295	3,514	3,589	3,189	3,323	3,004	3,013	3,545
	R2目標値(回数)	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068
	R2目標値(時間数)	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567

※R1年度、訪問回数・時間数目標は未設定



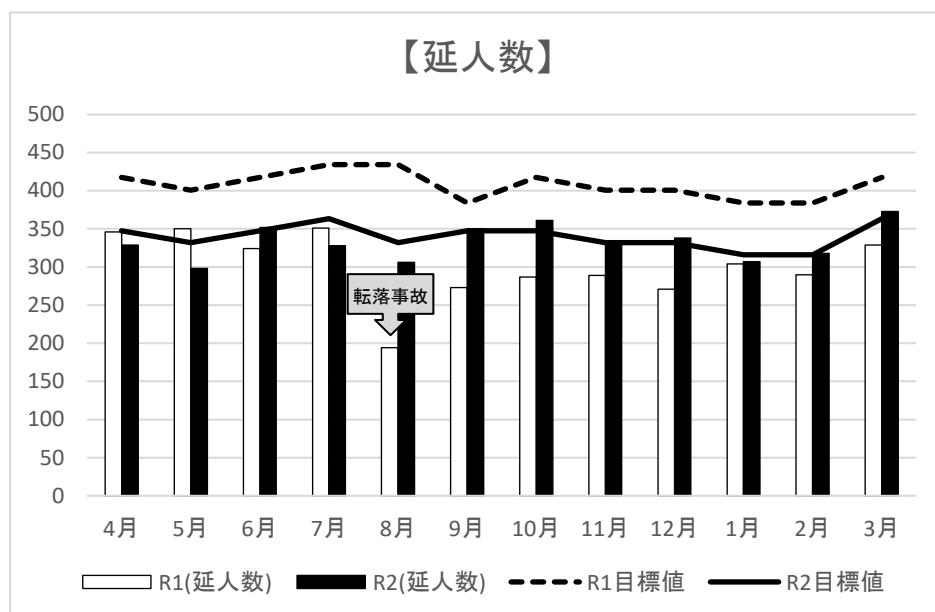
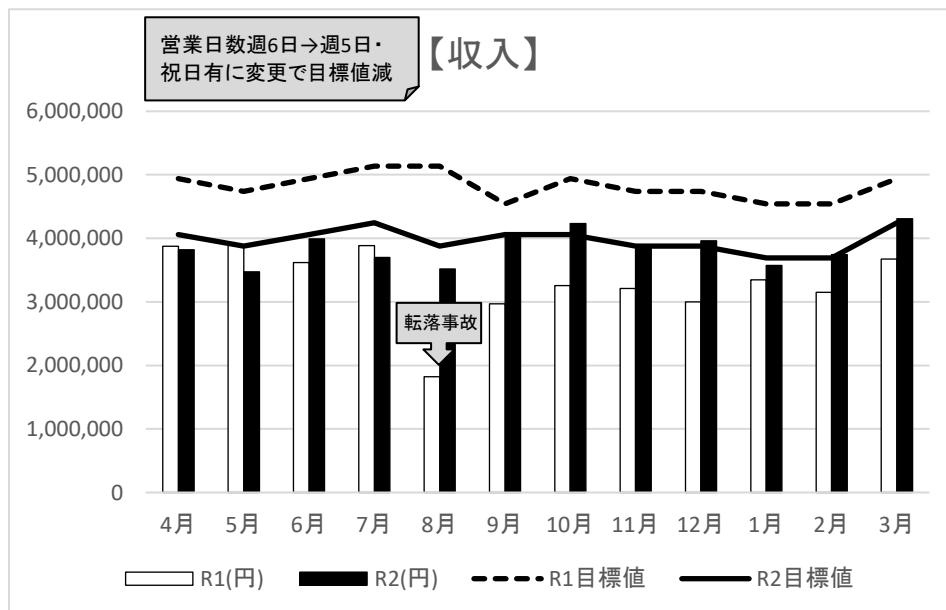
東部デイサービスセンター

収入目標額	47,612,000 円	実績額(達成率)	46,835,473 円 (98.4%)
目 標			達成度
① 1日当たりの月平均利用人数 14.8人 介護：13.7人・総合サービスA：1.1人 → 稼働率：介護76.1%・総合22.0% ※定員：介護（総合現行相当・障害含む）18人・総合サービスA：5人			○ 介護14.6人 総合0.9人
②・毎日、利用者に関する気づきや引継ぎ等の報告・連絡・相談をお昼に行い、早期解決を図ります。また、「気づきカード」を事務所と居室に配置し、記録の管理及び情報の共有を徹底します。 ・事故検討委員会を3ヶ月に1回実施し、事故を風化させず職員の危機管理意識の向上に努めます。			◎
③・職員が自ら考え自ら行動できるよう意識改革を進め、経費削減にも努めながら、魅力のあるデイサービスを再構築します。 ・利用者の在宅での日常動作に基づいた支援を取り入れて個別機能訓練を実施し、また利用者、家族及び居宅介護支援事業所への情報提供を密に行い、信頼関係をさらに強くします。			◎
実績評価	<p>今年度より祝日含む週5日営業とし、個別機能訓練加算を4月から取得し、さらに認知症加算を10月から取得しました。前年度は事故の影響により収入が激減しましたが、個別機能訓練が定着することで、新規利用者が増加しました。</p> <p>コロナ禍でも安定した利用があり、介護サービスの平均利用人数は目標を達成し、収入も10月以降は月割り目標額を達成しました。しかし、年間実績では赤字経営となりました。</p>		

●東部デイ ※R1→R2 正規1名減（R1正規4名・嘱託1名 R2正規3名・嘱託1名）※R1年8月10日転落死亡事故発生。以後週5日営業となる

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	R1(円)	3,873,034	3,894,075	3,618,747	3,882,888	1,823,231	2,968,859	3,254,018	3,208,578	2,998,338	3,346,808	3,148,178	3,673,488
	R2(円)	3,821,105	3,474,270	3,990,100	3,699,080	3,516,581	4,039,546	4,231,610	3,890,105	3,962,109	3,572,752	3,745,679	4,306,499
	R1目標値	4,937,884	4,740,369	4,937,884	5,135,399	5,135,399	4,542,853	4,937,884	4,740,369	4,740,369	4,542,853	4,542,853	4,937,884
	R2目標値	4,059,938	3,875,395	4,059,938	4,244,481	3,875,395	4,059,938	4,059,938	3,875,395	3,875,395	3,690,853	3,690,853	4,244,481
延人数	R1(延人数)	346	350	324	351	194	273	287	289	271	304	290	329
	R2(延人数)	329	298	352	328	306	350	361	333	338	307	318	373
	R1目標値	418	401	418	434	434	384	418	401	401	384	384	418
	R2目標値	348	332	348	363	332	348	348	332	332	316	316	363

※R1目標値は当初目標値(週6日営業)である。



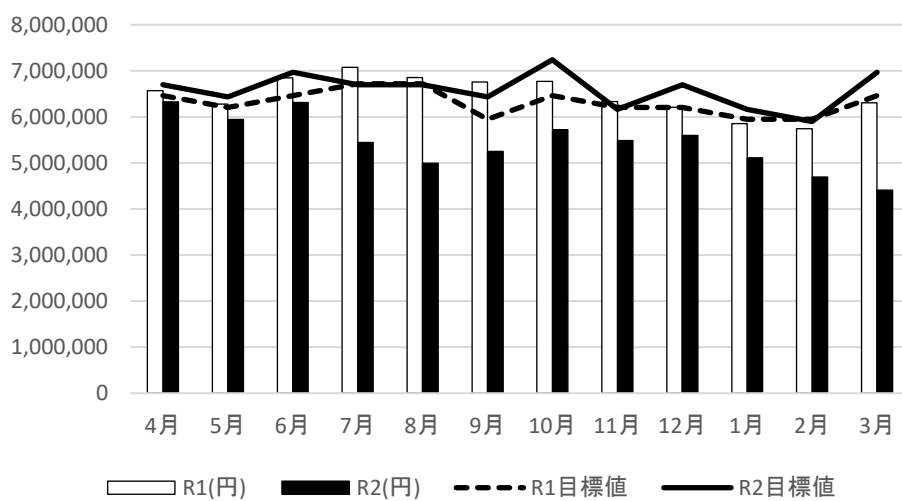
西部デイサービスセンター

収入目標額	79,088,000 円	実績額(達成率)	66,404,709 円 (84.0%)
目 標			達成度
① 1日当たりの月平均利用人数 24.1人 介護：23.3人・総合サービスA：0.8人 → 稼働率：介護77.7%・総合26.7% ※定員：介護（総合現行相当・障害含む）30人・総合サービスA：3人			△ 介護18.7人 総合2.3人
②・朝礼では利用者の体調の変化など特に気を付けることを共有し、送迎後も家族からの情報を連絡ノートに記載するなど、周知を徹底します。 ・月1回の定例会にて各職種からの意見を共有し、対応を協議します。また、些細なことでもヒヤリハットに記録し、事故を未然に防ぐよう努めます。			◎
③・毎日、職員が利用者数を気にかけるよう空き人数を書き出し、経営意識を高めます。 ・毎月、実績報告書を配布する際、当事業所の空き状況を記載して新規利用者の確保につなげます。			△
実績評価	<p>コロナ禍で密を回避するため積極的に新規利用者を確保できなかったことにより、延べ利用人数が前年度より減少し、要介護度の高い利用者の入院や入所、死亡により収入がさらに減少しました。10月以降は、感染予防対策として飛沫防止パネルを増やし座席レイアウトを再検討し、新規利用者を10名以上確保しましたが、年間実績では赤字経営となりました。</p> <p>3月下旬、事務所内の職員がコロナウイルスに罹患しましたが、その影響を断ち切り新規利用者を積極的に確保していきます。</p>		

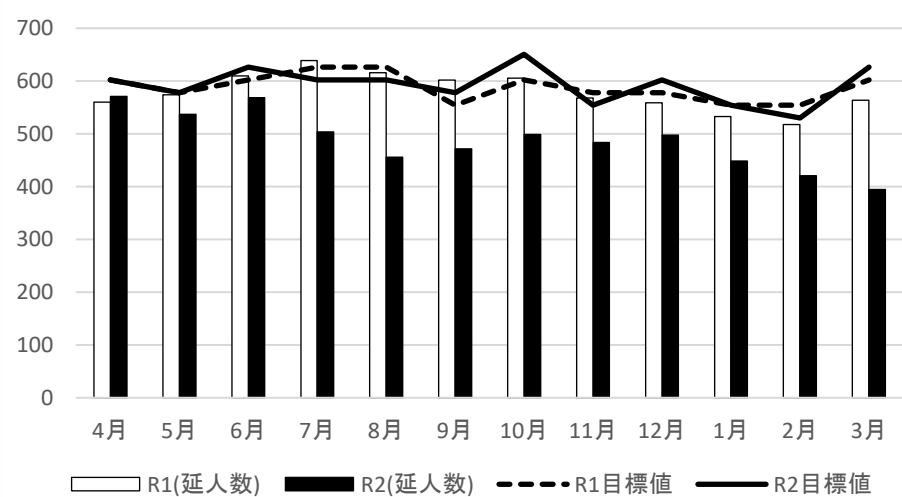
●西部デイ ※R1→R2 職員増減なし（正規4名・嘱託2名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	6,572,333	6,278,395	6,847,635	7,080,948	6,855,580	6,760,610	6,771,070	6,336,790	6,209,060	5,858,770	5,743,050	6,309,870
	R2(円)	6,329,800	5,944,045	6,317,250	5,445,210	4,993,680	5,251,630	5,723,250	5,486,429	5,599,247	5,109,580	4,695,540	4,414,000
	R1目標値	6,464,078	6,205,515	6,464,078	6,722,642	6,722,642	5,946,952	6,464,078	6,205,515	6,205,515	5,946,952	5,946,952	6,464,078
	R2目標値	6,702,373	6,434,278	6,970,468	6,702,373	6,702,373	6,434,278	7,238,563	6,166,183	6,702,373	6,166,183	5,898,088	6,970,468
延 人 数	R1(延人数)	560	574	610	639	616	602	606	568	559	533	518	564
	R2(延人数)	571	537	569	504	456	472	499	484	498	449	421	395
	R1目標値	603	578	603	627	627	554	603	578	578	554	554	603
	R2目標値	603	578	627	603	603	578	651	554	603	554	530	627

【収入】



【延人数】



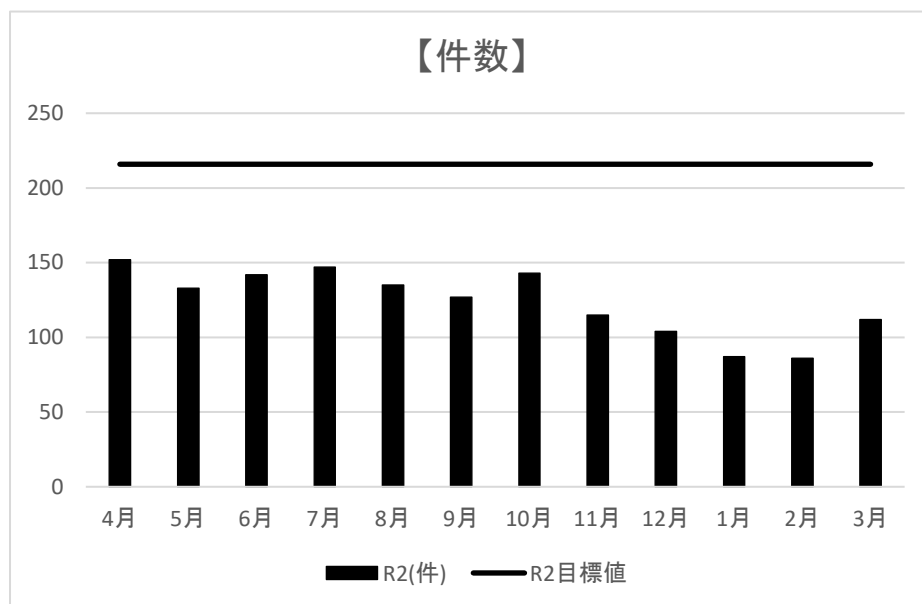
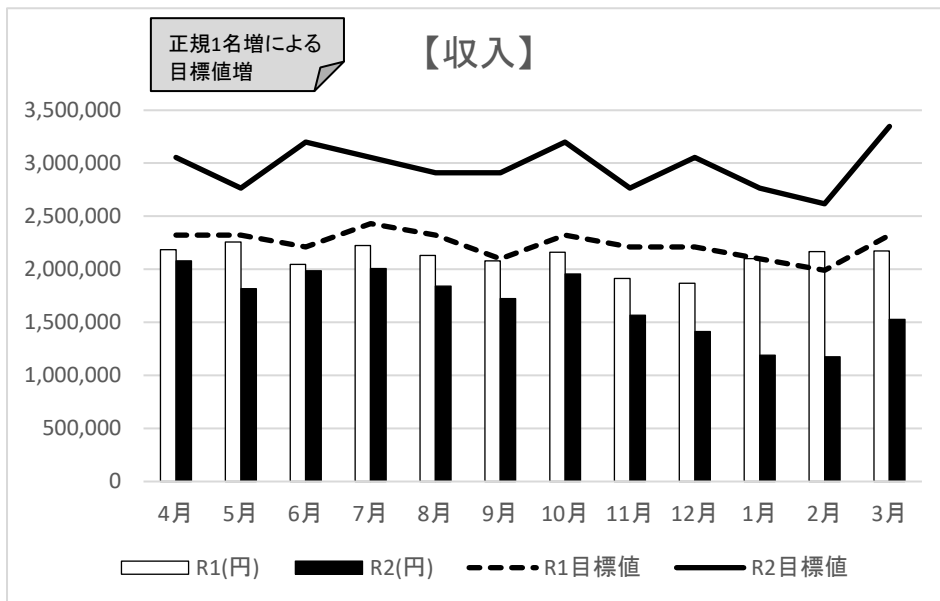
訪問入浴サービスセンター

収入目標額	35,635,000 円	実績額(達成率)	20,900,345 円 (58.7%)
目 標			達成度
① 1日当たりの月平均利用人数 8.2人			× 6.1人
② 月1回定例会を開催し、利用者の身体状況を把握し、情報共有を行います。			◎
③ 訪問入浴車3台稼働の日を増やし、稼働率を上げます。			×
実績評価	<p>年度途中の人事異動や正規職員の退職（2名減）、臨時職員の退職（4名減）により人員不足に陥ったため、新規利用者の受け入れを制限しながらの事業運営となりました。よって、利用件数の増加が見込めず、目標数値には大幅に届きませんでした。</p> <p>業務改善として1台あたり3名体制の稼働率を上げる努力を行い、月別実績で見ると、4月当初の5.9%から12月には40.4%まで稼働率を上げました。1月の臨時職員の補充に伴い業務に慣れるまで一時的に9.3%まで下がりましたが、3月は25.9%まで回復しました。</p> <p>新規利用者を受け入れる体制づくりのため、今後も人員を確保する必要があります。また、3名体制での稼働率も40%を堅持できるよう職員の質の向上と指導を行っていきます。</p>		

●入浴 ※R1→R2 正規1名増（R1.4月正規2名(兼務) R1.9月正規2名 R2.4月正規3名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	2,184,200	2,256,780	2,046,290	2,224,400	2,130,600	2,078,250	2,159,780	1,913,740	1,868,420	2,101,120	2,165,170	2,173,450
	R2(円)	2,077,780	1,818,060	1,986,454	2,005,420	1,841,380	1,724,080	1,954,720	1,568,030	1,413,660	1,190,516	1,175,600	1,526,990
	R1目標値	2,320,111	2,320,111	2,209,630	2,430,593	2,320,111	2,099,148	2,320,111	2,209,630	2,209,630	2,099,148	1,988,667	2,320,111
	R2目標値	3,054,429	2,763,531	3,199,878	3,054,429	2,908,980	2,908,980	3,199,878	2,763,531	3,054,429	2,763,531	2,618,082	3,345,327
件 数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	R2(件)	152	133	142	147	135	127	143	115	104	87	86	112
	R2目標値	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216

※R1年度、件数目標は未設定



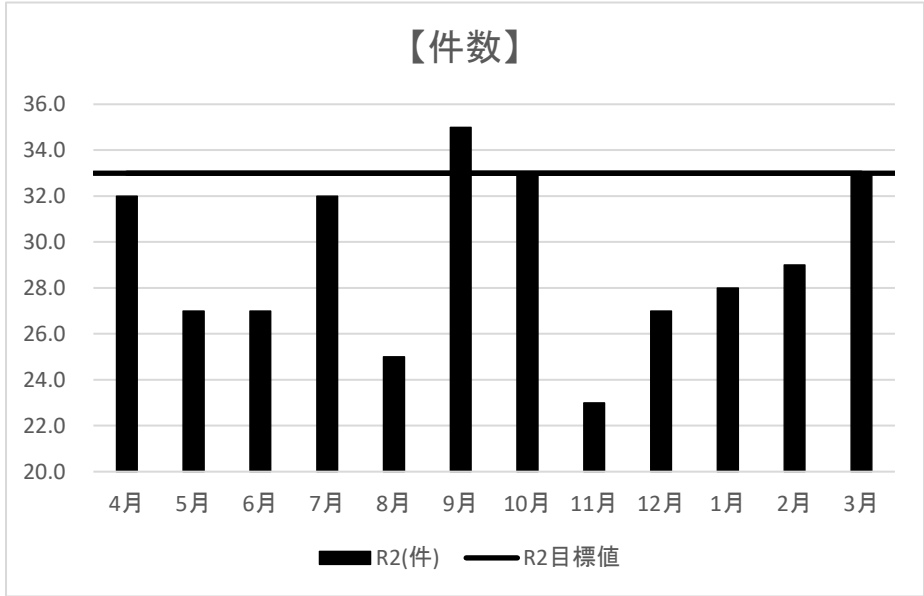
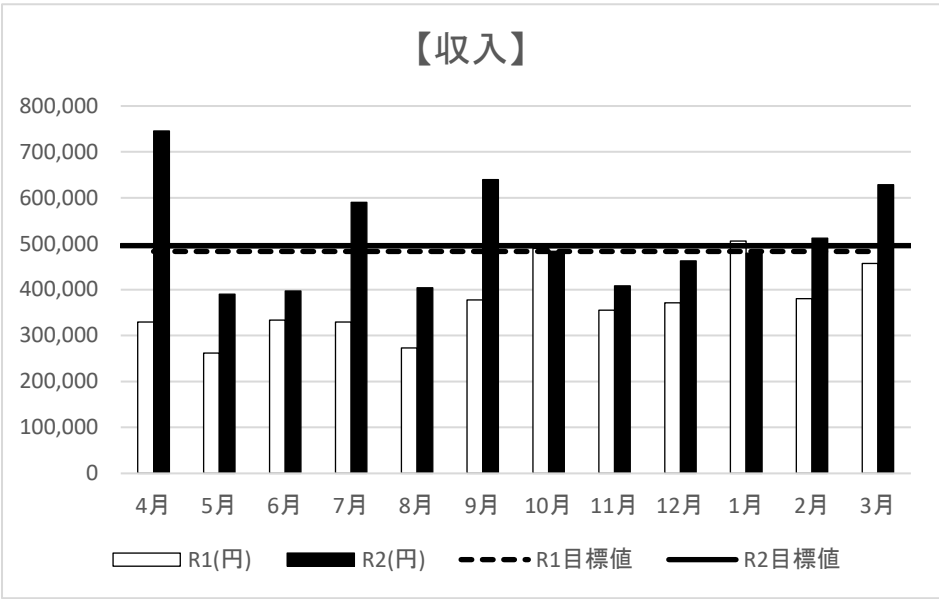
相談支援事業所

収入目標額(受託金除く)	5,949,000 円	実績額(達成率)	6,230,568 円(104.7%)
目 標			達成度
①相談支援員 1 人当たりの月平均担当件数 正規：50 件 臨時：35 件 ※月平均請求件数 33 件			○ 29.3 件
②・職員の知識、技術力の向上のため、職員 1 人当たり年 2 回以上、研修を受講します。 ・勤務時間内にできる限り業務が終わるよう、事務の効率化を図ります。			◎
③・社協の窓口相談や障がいのある人の家族の研修会・交流会に参加します。また、日常生活自立支援事業、生活福祉資金の担当者と連携を図ります。さらに 8050 問題も含め地域包括支援センターや行政との連携も深めていきます。 ・人材を確保するため、地域福祉課や介護保険課と連携し、相談支援専門員の有資格者を育成します。			◎
実績評価	<p>収入は新規利用者の受け入れもあり目標額を達成しています。担当件数は、計画相談の終結件数(一般就労への移行、作業所との契約解除等)が一時的に増え減少することもありましたが、計画相談及び一般相談の新規件数が増加したため、相談件数全体としては増加しました。</p> <p>利用者の相談が複雑化し、請求実績に該当しない支援が多くあります。</p>		

●相談支援 ※R1→R2 職員増減なし(正規1名・臨時1名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	329,770	261,880	333,720	329,260	272,970	377,530	489,550	355,410	371,610	505,660	380,160	457,130
	R2(円)	745,700	390,250	397,320	590,320	403,850	639,780	483,510	408,360	462,310	479,510	511,770	628,690
	R1目標値	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250	483,250
	R2目標値	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750	495,750
件 数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	R2(件)	32.0	27.0	27.0	32.0	25.0	35.0	33.0	23.0	27.0	28.0	29.0	33.0
	R2目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	

※R1年度、件数目標は未設定



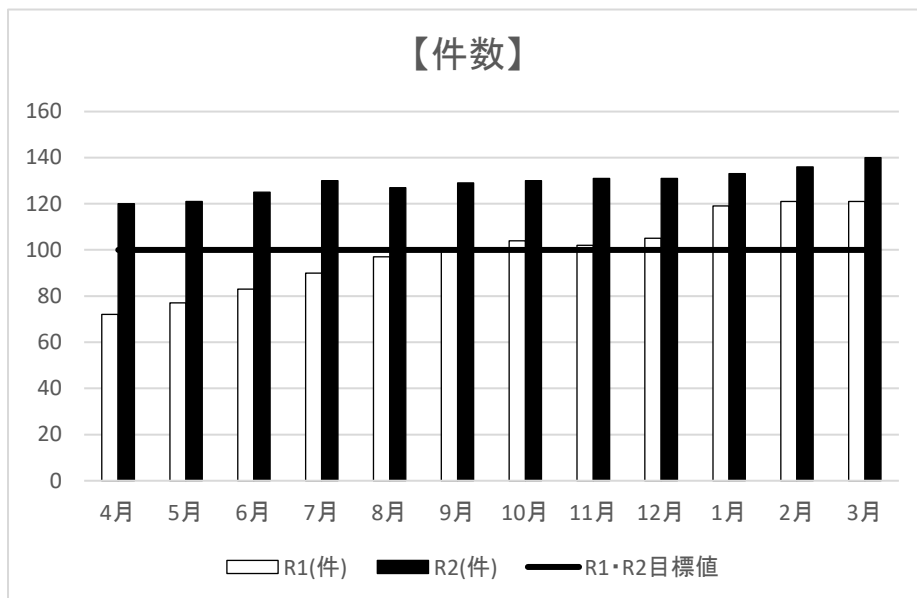
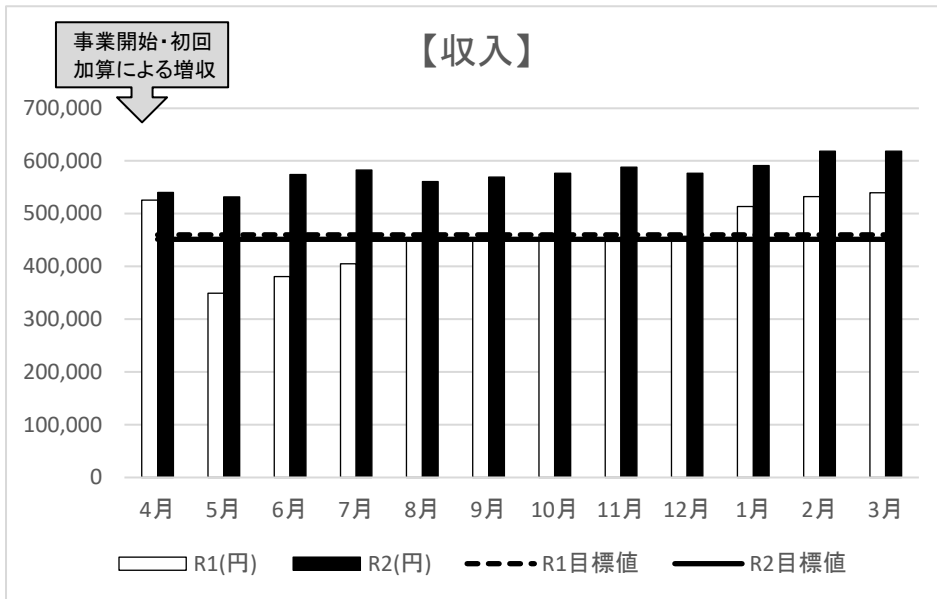
東部地域包括支援センター（介護予防）

収入目標額(補助金除く)	5,419,000 円	実績額(達成率)	7,137,129 円(131.7%)
目 標			達成度
①ケアマネ 1 人当たりの月平均担当件数 正規：50 件 嘱託：50 件 ※月平均請求件数 100 件			◎ 129.4 件
②週 1 回の総合相談スクリーニング開催時にヒヤリハットを共有し、事故防止に努めます。			◎
③相談援助技術の研鑽のため、内外の研修に職員全員が参加します。			◎
実績評価	<p>介護支援専門員 1 人当たりの担当件数は月 56～58 件（介護支援専門員以外の社会福祉士等の担当件数を除く）で目標値を達成しており、収入実績額においても目標額を超えました。</p> <p>ヒヤリハットは、毎週定例化し些細なことも自分のこととして意識を持ち、共有しながら業務を遂行しました。</p>		

●東部包括 ※R1→R2 正規1名減・嘱託1名増（R1正規2名 R2正規1名・※R1年4月より事業開始

※R1年4月より事業開始

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	R1(円)	525,600	349,100	380,900	405,000	452,100	450,000	460,930	447,620	457,240	513,270	532,200	539,510
	R2(円)	540,440	531,820	574,370	582,610	560,680	569,300	576,610	588,230	576,610	591,230	618,780	618,400
	R1目標値	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000
	R2目標値	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500	451,500
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件 数	R1(件)	72	77	83	90	97	100	104	102	105	119	121	121.0
	R2(件)	120	121	125	130	127	129	130	131	131	133	136	140
	R1・R2目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100



東部地域包括支援センター（地域包括）

目 標		達成度
①地域に出向く機会を増やし住民の声を聴き、生活支援サービス体制整備事業につなぎます。		○
②関係機関との連携を密にとり、適切な支援に努めます。		◎
③住民にとって相談しやすいセンターであるよう、職員一人一人が意識して対応していきます。		◎
実績評価	<p>コロナ禍の影響で地域に出向く機会が制限され、住民の声を聴くことが十分できませんでした。可能な限りコミュニティカフェやいきいき百歳体操の実施場所に出向き、個別内容を吟味し生活支援ボランティアにつなぎました。</p> <p>生活支援体制整備事業の推進では、高齢者を支援している介護支援専門員との協働も重要であり、包括として意識して取り組んでいきたい。</p>	

■その他の事業

①介護職員初任者研修（補助事業）

5月19日～12月18日の研修期間で予定していましたが、感染防止の観点から中止としました。

②障がい者就労支援事業（受託事業）

春日庁舎内で「ちゃれんじスペース」を運営し、障がい者の就労を支援するため、自主製品の販路拡大と安定的な仕事を確保します。

業務内容	実績額(円)	開設日数(日)
自主製品の販売（パン、手芸品、アクセサリ等）	643,140	146
喫茶	326,050	128
市役所内の軽作業	505,180	58
喫茶接客業務	5,400	3

ちゃれんじスペースふれあいまつり（11月予定）は、感染防止の観点から中止としました。

③障がい者相談支援事業（受託事業）

障がい者本人や家族等を対象に、相談支援専門員が一般的な困りごとに必要な情報の提供、助言等を行います。

【相談者別】

障がいの種別	知的	身体	精神	発達	高次脳機能	難病	その他	合計
実人数(名)	14	2	15	1	0	0	1	33
延べ回数(名)	68	26	88	4	0	0	1	187

【相談内容別】

支援内容	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
延べ人数(名)	16	9	11	11	1	4	4	9	12	0	0	2	79
延べ回数(名)	35	11	48	20	1	4	8	17	36	0	0	7	187

◆令和2年度 事業所別稼働率一覧表

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
① 東部ケアマネジメントセンター	89.2%	93.8%	94.7%	96.7%	95.4%	95.4%	96.9%	95.9%	98.5%	95.9%	94.2%	95.5%	95.2%
② 西部ケアマネジメントセンター	94.6%	94.3%	97.3%	98.4%	98.4%	97.3%	97.7%	98.9%	98.8%	97.9%	99.5%	100.7%	97.8%
東部デイ(介護・現行相当)	77.8%	73.5%	81.3%	73.4%	74.9%	81.8%	86.4%	84.7%	86.2%	82.2%	85.3%	85.0%	81.0%
東部デイ(サービスA)	19.1%	19.0%	27.3%	20.9%	21.9%	23.6%	17.3%	12.4%	11.4%	11.0%	11.0%	18.3%	17.8%
③ 西部デイ(介護・現行相当)	71.9%	71.3%	69.2%	62.7%	56.7%	61.3%	57.7%	66.2%	62.7%	61.6%	60.8%	47.8%	62.5%
西部デイ(サービスA)	82.1%	72.7%	74.4%	87.2%	86.1%	79.5%	82.1%	81.8%	71.8%	66.7%	66.7%	52.4%	75.3%
④ ホームヘルプセンター(回数)	97.6%	98.1%	99.0%	101.8%	101.6%	103.1%	106.6%	98.0%	102.9%	93.0%	93.7%	111.0%	100.5%
ホームヘルプセンター(時間数)	90.7%	90.2%	90.6%	94.9%	92.4%	98.5%	100.6%	89.4%	93.2%	84.2%	84.5%	99.4%	92.4%
⑤ 訪問入浴センター	67.0%	64.8%	59.8%	64.8%	62.5%	58.8%	60.2%	56.0%	45.9%	42.4%	44.2%	45.1%	56.0%
⑥ 東部地域包括支援センター	120.0%	121.0%	125.0%	130.0%	127.0%	129.0%	130.0%	131.0%	131.0%	133.0%	136.0%	140.0%	129.4%
⑦ 相談支援	97.0%	81.8%	81.8%	97.0%	75.8%	106.1%	100.0%	69.7%	81.8%	84.8%	87.9%	100.0%	88.6%

【数値目標の基準】

① 居宅介護支援	正規:35件 定年後再雇用・嘱託:32件 臨時:26件	④ 訪問介護	正規:68回/65時間 嘱託:55回/52時間 登録H:65回/55時間
② 東部デイ	介護:92%(14.7人) 総合:22%(1.1人)	⑤ 訪問入浴	1日あたり月平均利用者数 10.8人
③ 西部デイ	介護:77.7%(23.3人) 総合:2.7%(0.8人)	⑥ 東部地域包括	⑦ 相談支援 月平均請求件数 33件

※東部デイ、訪問入浴、相談支援は収入目標額に応じた稼働率に修正している。

※東部デイ(サービスA)の稼働率が低い要因は総利用定員が大きいためであり、社会貢献的な事業である。(週5日・定員5名、西部デイは週3日・定員3名)